

北地域まちづくり新聞

かわら版

第105号

(発行) 大口町北地域自治組織 (協力) 大口町 地域協働課

2021.8.1(葉月)

自転車教室～北小学校4年生の児童の皆さん～

6月9日(水)に大口北小学校の体育館で、4年生の児童101名を対象に、北地域自治組織主催による自転車教室を行いました。江南警察署に依頼し、愛知県警第一交通機動隊自転車対策小隊「B-Force」に来ていただき、模範走法や障害物にぶつかった時の実演を交えながら、安全な自転車の乗り方を指導していただきました。

児童は正しいヘルメットのかぶり方から始まり、体育館に用意されたコースを一人一人が体験し、真剣に走行して行きました。

江南警察署の方は、「大口町は狭い道路が多く、交差点での一旦停止を怠ったための事故が多く発生しています。自転車教室を行うことにより、事故は減少に繋がっています。是非、学んだことを実際の道路で実践して欲しいです。」と、話されていました。

10月1日からヘルメット着用が努力義務になります。大口町では、ヘルメット着用推進ため、購入費の一部が補助されます。詳細は町民安全課までお問い合わせください。

☆☆☆ 注意すること ☆☆☆

- ・ヘルメットは額を出さず、あごひもは指2本入る程度
- ・踏切は自転車を降りて引いて渡る
- ・信号が青になっても右、左、右後ろを確認する
- ・歩行者がいない時は、自転車に乗って横断歩道を渡って良いが、歩行者がいる時は自転車から降りて引いて渡る



【ヘルメットのかぶり方】



【慎重に走行している様子】



【障害物にぶつかった時の実演】

私たちは、大口町北地域自治組織とともにまちづくりに取り組んでいます。



(有)マルエ不動産

丹羽郡大口町余野3丁目220番地

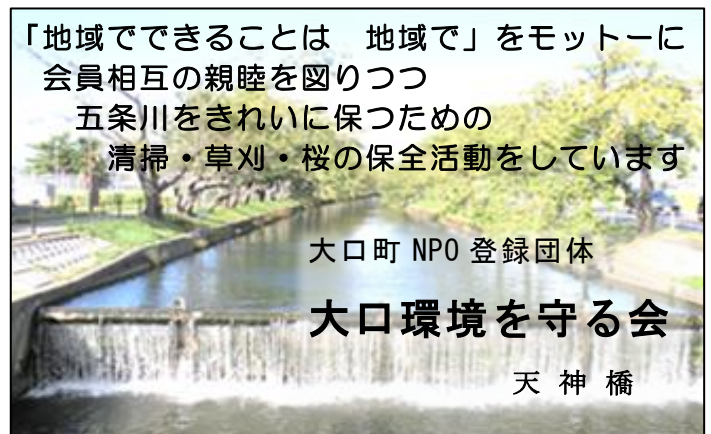
☎0587-96-2103

「地域でできることは 地域で」をモットーに
会員相互の親睦を図りつつ
五条川をきれいに保つための
清掃・草刈・桜の保全活動をしています

大口町 NPO 登録団体

大口環境を守る会

天神橋



ふれあい花壇～初夏の花植え～

5月22日(土)に仲沖地区、5月29日(土)に下小口地区、6月12日(土)に河北地区、6月20日(日)に新宮地区の3地区4か所で、「ふれあい花壇」の花植えを行いました。

今回も昨年度同様、コロナ感染拡大防止から北地域自治組織のメンバーを中心にりましたが、多くの方の参加がありました。

この花植えは、自治組織設立当初からの行事です。今回はポチュラカ、日々草、マリーゴールド、ベゴニア等を植えました。近くをお通りの際は、お楽しみください。

また、これらの苗の費用は、町と今年度からセブンイレブン記念財団の助成金、そして皆さんにご協力をいただいているペットボトルキャップ回収の売上金から成り立っています。今後ともペットボトルキャップ回収のご協力をお願いします。



【河北地区の様子】



【下小口地区の様子】

福祉部会勉強会～地域包括ケアシステム～

6月23日(水)福祉部会では、健康生きがい課 近藤課長補佐を講師に招き、「地域包括ケアシステム」について勉強会を開催しました。

高齢化が進んでいる現在、大口町でも高齢化率が上昇しています。65歳以上の方の高齢者の要介護・要支援認定者数は10人に1人です。これから、高齢者の見守りを必要とする個人、世帯も年々増加しています。

平均寿命と健康寿命(H28年現在)については、男性の平均寿命が81歳、健康寿命が72歳。女性の平均寿命が87歳、健康寿命が75歳です。スポーツやボランティア、趣味等のサークル活動をされている方は、認知症やうつもののリスクが低い傾向にみられるそうです。

◇今回の勉強会で学んだこと◇

- ① 近所の人との交流の大切さ
- ② 災害時の避難支援や安否確認
- ③ 防犯・防災のための見回り
- ④ 健康づくりの重要さ
- ⑤ **支え合いは他人事ではなく、我が事と捉えた自治の仕組みづくりが大切です。**

今後の活動に活かしてまいります。



【勉強会の様子】

～新型コロナウイルス感染拡大を予防するための4つのポイント～

- 1.手洗い・手指消毒
- 2.咳エチケット
- 3.密を避ける
- 4.感染症に負けない体づくり